

鮭川出張所河川愛護モニタ－通信Vol.66

真室川小学校環境委員会の児童のみなさんからいただいた質問・報告と、鮭川出張所からの回答をご紹介します。

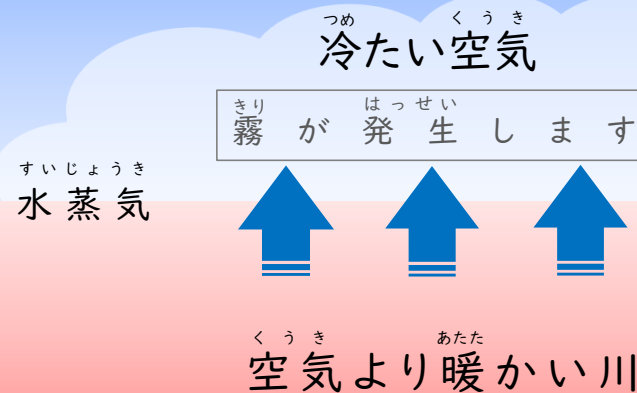
報告

11月15日、朝夕だ**いぶ**寒くなってきました。朝、もやがかかっていることがあります。

回答

霧やもやは川の水温が外の気温より高いときに発生します。寒い冬の夜は気温がぐっと下がります。冷えた空気が弱い風で水面付近に運ばれると、水温の方が高いため、水蒸気が冷やされ霧が発生します。これを蒸発霧(川霧)といいます。露天風呂や熱い飲み物から上がるゆげと同じ原理です。

蒸発霧(川霧)とは・・・?



見通せる距離が1km以上～10km未満

もや

100m

1km

見通せる距離が1km未満

霧

100m

1km

濃い霧を「濃霧」といいますが、陸上で見通せる距離が100m以下

濃霧

100m

1km

最上地方の気象の特性

私たちが住む最上地方は周囲を山に囲まれた、周辺よりも低く平らな地形(盆地)です。夏の気温が高いですが、夜は涼しく、1日の最高気温と最低気温の差が大きいため、7月から11月の霧の発生が非常に多い地域です。